

経済産業省のデジタルトランスフォーメーションへの挑戦：SaaS型認証サービスのAuth0を利用して「GビズID」を推進





経済産業省のDXへの取り組み～経済産業省の危機感

例えば省庁の行政手続きではいまだに「紙」だけにしか対応していないなど、旧態依然のシステム故の不便さに、閉口した経験を持つ方も少なくないはずだ。その省庁の中でも、経済産業省は昨今、DX（デジタルトランスフォーメーション）に力を入れているという。その契機について、「一般的に民間では積極的にDX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組む企業が多い中、省庁はそこから取り残されているのではないかという危機感から、経済産業省のDXは始まっています。」と、経済産業省 商務情報政策局 総務課 情報プロジェクト室 デジタル化推進マネージャーの林大輔氏は語る。

「省庁の手続きが今まで通り紙であると、企業のみなさんが何かしら行政手続きをするときも非効率で、それが企業の働き方改革の阻害要因にもなってしまふ。省庁が変わっていかねばならず、経済産業省の所管している手続きをどんどんデジタル化していこうという動きを進めています。」



林大輔氏

経済産業省 商務情報政策局 総務課 情報プロジェクト室 デジタル化推進マネージャー

セキュリティ基準にも合致した Auth0 で効率的な開発

中小企業庁データ分析基盤における「G ビズ ID」¹との連携や、ミラサポ plus の制度ナビ・事例ナビとの利用者認証において、Auth0 を利用する経済産業省。DX（デジタルトランスフォーメーション）を進める上で、これまでのようにオンプレミス中心のシステム構築では、効率性やコストの観点からも適切ではない。しかし、経済産業省がセキュリティ面を疎かにするわけにはいかない。SaaS 型の認証サービスである Auth0 を採用する際には、政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準などの各基準、ガイドラインに基づいて十分に吟味したという。その上で、リスクと、開発にかかる工数削減とのバランスで、Auth0 の採用に至った。

「今、やはりシステムにかかる予算も削減の方向に向かっていますので、どんどん効率化していかないと。もはや一から全部作るって時代ではないのかなと思っています。」



林 大輔氏

経済産業省 商務情報政策局 総務課 情報プロジェクト室 デジタル化推進マネージャー

ノンコーディングで簡単に導入できながらも高いカスタマイズ性

経済産業省が構築している共通認証サービスである「G ビズ ID」は、Open ID Connect というプロトコルを利用しており、その「G ビズ ID」と既存システムまたは新規システムの認証機能の橋渡し役として Auth0 を採用するケースが少しずつ増えてきていると林氏は語る。その理由について、導入の分かりやすさを一番に挙げる。一般的な認証サービスとの連携機能が標準で用意されており、ほとんどノンコーディングで認証の機能を導入できるのは、DX を掲げる観点からは大きな利点だ。また、カスタマイズ性の高さも魅力だ。例えば、SAML 認証サーバーと「G ビズ ID」を繋ぐ際にも Auth0 を採用しており、スムーズに連携することができたという。

「（Auth0 を）まずは使ってみて、非常にわかりやすかったので、これを使っていこうということで、Auth0 を採用しているケースがちょっとずつ増えています。」



林 大輔氏

経済産業省 商務情報政策局 総務課 情報プロジェクト室 デジタル化推進マネージャー

¹ 経済産業省が構築した認証基盤で、1つのアカウントで様々な行政手続を利用する際の認証を行えるようにするシステム

障害時対応の迅速化と認証の仕組みの透明化

では実際に Auth0 を導入した効果についてはどうだったのだろうか。これまでの省庁のシステムは、IT ベンダーに委託をしてシステム構築をする中で、運用を IT ベンダーに任せきりにしたり、軽微なシステム変更にも期間とコストがかかることが多かった。また、利用者から何かしらの問合せや障害があった場合にも、IT ベンダーに依頼し、次に調査報告が上がってきて、それから対処するという長いプロセスがあった。SaaS 型のシステムを導入することによって、まず認証システムの機能とログを管理画面で簡易に確認できるため、障害時の影響確認とその後の対応の迅速化につながっているという。

「誰でも設定をウェブ上から確認できるので、認証の仕組みが透明化されたと思っています。省庁の職員が、ウェブ上で設定やログをすぐに確認できるので、何か障害が起きた時のクイックレスポンスにつながっています。」



林 大輔氏

経済産業省 商務情報政策局 総務課 情報プロジェクト室 デジタル化推進マネージャー

行政サービスのさらなる利便性向上のために

経済産業省が整備している「G ビズ ID」は、複数の行政サービスを 1 つのアカウントで利用することができるシステムだ。「G ビズ ID」にアカウントを登録すると、このシステムにつながる行政サービスでの利用が可能となり、利用者の利便性が大きく向上する。そのため、利用できる行政サービスを順次拡大しているという。デジタルトランスフォーメーションを推し進める経済産業省の挑戦に、今後も期待していきたい。

「G ビズ ID は他の省庁のシステムでも導入を検討しています。今後、行政サービスのさらなる利便性向上に寄与していきたいと思っています。」



林 大輔氏

経済産業省 商務情報政策局 総務課 情報プロジェクト室 デジタル化推進マネージャー

Auth0（オースゼロ）について

Auth0 は、9,000 社以上の導入実績を誇る認証認可プラットフォームを提供しています。複雑で開発者の負荷が高い認証機能の実装を Auth0 に任せることで開発者体験（DX）を向上、企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進します。Auth0 を使い、80%以上のお客様が安全で拡張性の高い認証システムを 1 週間以内に実装しています。

ウェブサイト：<https://auth0.com/jp/> お問い合わせ：auth0-japan@auth0.com